



CHAPTER 2

スタンドアロンノードのアップグレード

ここでは、次の内容について説明します。

- 「Cisco ISE スタンドアロン ノードのアップグレード」 (P.2-1)
- 「リリース 1.1 を実行する Cisco ISE スタンドアロン プライアンスとリリース 1.1.1 を実行するアプライアンスの交換」 (P.2-3)

Cisco ISE スタンドアロン ノードのアップグレード

Administration、Policy Service、Monitoring のペルソナを担当するスタンドアロン Cisco ISE ノードの CLI から **application upgrade** コマンドを実行できます。

スタンドアロン ノードの Cisco ISE をアップグレードするには次の手順を実行します。

ステップ 1 Cisco ISE のアップグレード前に、管理ユーザ インターフェイスまたは CLI から、スタンドアロン ISE ノードのオンデマンド バックアップ (手動) を実行し、管理ユーザ インターフェイスから Monitoring ノードのオンデマンド バックアップを実行します。

オンデマンド バックアップの詳細な実行方法については、「[オンデマンド バックアップの実行](#)」 (P.1-3) を参照してください。

ステップ 2 Cisco ISE CLI から **application upgrade** コマンドを起動します。このプロセスは、アプリケーション バイナリ、データベース スキーマ、データモデル モジュールを内部でアップグレードします。また Cisco Application Deployment Engine (ADE) リリース 2.0 オペレーティング システム (ADE-OS) の更新のアップグレードも処理します。

アップグレード プロセスを完了するためにシステムのリロードが必要な場合、アップグレードの成功後に Cisco ISE ノードは自動的に再起動します。

スタンドアロン ノードでアップグレードを成功させるための CLI トランスクリプトは次のとおりです。

```
ise-vm29/admin# application upgrade ise-appbundle-1.1.1.xxx.i386.tar.gz myrepository
Save the current ADE-OS running configuration? (yes/no) [yes]?
Generating configuration...
Saved the ADE-OS running configuration to startup successfully
Initiating Application Upgrade...
#####
NOTICE: ISE upgrade requires you to change the database
administrator and database user password. You will be
prompted to change these passwords after the system reboots.
#####
Stopping ISE application before upgrade...
Running ISE Database upgrade...
Upgrading ISE Database schema...
```

```
ISE Database schema upgrade completed.
Running ISE Global data upgrade as this node is a STANDALONE...
Running ISE data upgrade for node specific data...

This application Install or Upgrade requires reboot, rebooting now...
```

- ステップ 3** Cisco ISE リリース 1.0.3.377 または Cisco ISE メンテナンス リリース 1.0.4.573 から Cisco ISE リリース 1.1.1 へのアップグレードの後、**host-key host <sftp servername>** コマンドを使用してホスト キーを受け入れるまで、SFTP リポジトリを使用することができます。コマンドの使用の詳細については、『*Cisco Identity Services Engine CLI Reference Guide, Release 1.1.x*』を参照してください。



- (注)** Cisco ISE リリース 1.0.3.377 または Cisco ISE メンテナンス リリース 1.0.4.573 から Cisco ISE リリース 1.1.1 へのアップグレードの後、古いジョブは適切に機能しないため、スケジュールされたバックアップジョブを再作成する必要があります。



- (注)** 次の**ステップ 4**は Cisco ISE リリース 1.0.3.377 から新しいリリースへのアップグレードを実行している場合にのみ適用されます。それ以外の場合にはこの手順は無視することができます。

- ステップ 4** リポート プロセスの完了後、ログイン資格情報によるログインが指示され、すぐに Cisco ISE 内部データベース管理者パスワードおよびユーザ パスワードを入力するように求められます。(このプロセスは、ログインに使用しているユーザ アカウントに管理者レベルのアクセス権限がある場合にのみ成功します)。

```
login: admin
password:
% NOTICE: ISE upgrade requires you to change the database administrator and user
passwords, before you can start the application.
Enter new database admin password:
Confirm new database admin password:
Enter new database user password:
Confirm new database user password:
Starting database to update password...

Starting database to update password...
ISE Database processes already running, PID: 3323
Starting ISE Monitoring & Troubleshooting Session Database...
Starting ISE Application Server...
Starting ISE Monitoring & Troubleshooting Alert Process...
Starting ISE Monitoring & Troubleshooting Log Collector...
Starting ISE Monitoring & Troubleshooting Log Processor...
Note: ISE Processes are initializing. Use 'show application status ise'
      CLI to verify all processes are in running state.
```

アプリケーション バイナリおよび Cisco ADE-OS のアップグレード中に障害が発生した場合は、アプリケーション バンドルの前のバージョンを削除または再インストールしてバックアップから復元を行うしかありません。

アップグレードの障害から復旧する方法の詳細については「[スタンドアロンノードでのアップグレードの障害からの復旧](#)」(P.5-1) を参照してください。



(注)

Cisco ISE リリース 1.0.3.377、Cisco ISE メンテナンス リリース 1.0.4.573 または Cisco ISE リリース 1.1 から Cisco ISE リリース 1.1.1 へのアップグレードの後、古いジョブは適切に機能しないため、スケジュールされたバックアップ ジョブを再作成する必要があります。

リリース 1.1 を実行する Cisco ISE スタンドアロン アプライアンスとリリース 1.1.1 を実行するアプライアンスの交換

このアップグレードシナリオは、既存の Cisco ISE シャーシの交換と同時に、Cisco ISE リリース 1.0、Cisco ISE メンテナンス リリース 1.0.4 または Cisco ISE リリース 1.1 ソフトウェアを Cisco ISE リリース 1.1.1 にアップグレードする場合にのみ必要です。

同じ物理アプライアンスまたは仮想マシンを使用している場合は、バックアップからの復元ではなく [CLI からのアプリケーションアップグレードの使用](#)を使用することを推奨します。

Cisco ISE 1.1 を実行する Cisco ISE スタンドアロン アプライアンスと Cisco ISE リリース 1.1.1 を実行する Cisco ISE アプライアンスを交換するには、次の手順を実行します。

- ステップ 1** Cisco ISE 1.1 アプライアンスをバックアップします。
- ステップ 2** 新しい Cisco ISE 1.1.1 アプライアンスを起動および設定します。
- ステップ 3** Cisco ISE 1.1 のバックアップを復元します。



(注)

以前のバージョンのバックアップからデータを復元する場合、古い機能も新しい機能も関係なく、既存の設定はすべて復元後に消去されます。

バックアップと復元の実行方法の詳細については、『[Cisco Identity Services Engine User Guide, Release 1.1.1](#)』の 14 章、「Backing Up and Restoring Cisco ISE Data」を参照してください。

データの復元後は、すべてのアプリケーション サーバ プロセスが作動するまで待機する必要があります。

Cisco ISE アプリケーション サーバ プロセスの起動を確認するには、Cisco ISE CLI から次のコマンドを入力します。

```
show application status ise
```

CLI コマンドの詳細については、『[Cisco Identity Services Engine CLI Reference Guide, Release 1.1.x](#)』を参照してください。

